

第 4 次多摩市生涯学習推進計画素案検討まとめ

令和 2 年 1 0 月、多摩市生涯学習推進本部にて素案を決定し、1 1 月にはパブリックコメントを実施した。前回の策定委員会（令和 2 年 9 月 1 0 日開催）からの変更点や今後の流れ等は以下の通りである。

1 これまでの検討内容（前回策定委員会からの変更点）

(1) 章扉の追加

計画の構成を挿入し、各章での概要を記載した。初めに全体の流れや簡単な内容を見ることができるようにした。

(2) イメージ図（原案 P.3）

- 掲載場所を「第 3 節 計画の位置づけ」から「第 1 節 現代社会における生涯学習の意義」へ移動した
- 横に記載されていた行政の役割（学習メニューの提供、参加のきっかけづくり 等）のイラストを削除、文字量を減らしシンプルな図とした
- 木をモチーフとし、実をそれぞれの（個々や団体等の）学習の成果と見立て様々な大きさや色を持つものとした
- イメージがより分かりやすくなるよう、図の上部に説明文を記載した

(3) 成果目標（原案 P.14）

第 4 次多摩市生涯学習推進計画（以下、第 4 次計画という）では、1 1 の推進項目ごとに世論調査の設問に基づく成果目標を設定した。（推進項目 7 のみ企画課による調査）

本計画は、各課の取組みなどの条件整備を通じて市民の「学習のプロセス」を応援するものであるから、成果指標は設定せず、現状値のみを記載し、定期的に数値を確認していく。

また、本計画を進めることで、多摩市の最上位計画である第五次多摩市総合計画第 3 期基本計画や関連計画の成果が達成されるよう関連計画等の指標と合わせている。

【現行計画との比較】

	第 3 次	第 4 次
成果目標	3 つの目指す方向ごとに成果指標を設定 ➤ 現状値と目標値の指標を記載	11 の推進項目ごとに成果目標を設定 ➤ 現状値のみを記載 目標値は設定せず、全体の向上を図る
課題と変更	目指す方向ごとの成果指標では、目標範囲が広く、各個別施策の進捗状況や市民ニーズと成果の達成度合いの評価困難	目指す方向に紐づく推進項目ごとに成果目標を設定することで、事業実施の効果と市民のニーズとの関係や成果の達成度合いを比較しやすくなる

(4) 計画の進行管理（原案 P.15）

成果目標は、推進項目ごとに設定し、各個別施策の事業例等の進捗・実施状況を各年度確認していく。各個別施策の事業例等を実施することで、推進項目ごとに設定した成果目標の向上が図られたかどうかを、2年ごとに確認する。

① 成果目標等の確認について

➤ 個別施策の事業例

個別施策の各事業の進捗・実施状況の確認について、毎年度全庁照会を行う。なお、確認する個別施策事業は、今年度、照会をかけて回答いただいた事業を対象とし、第4次計画に記載されていない事業も含む。

➤ 成果目標について

2年に1度、多摩市政世論調査にて、成果目標の現状値を把握していく。

② 評価について

➤ 内部評価

多摩市生涯学習推進本部にて、個別施策の各事業の進捗・実施状況についての評価を行う。

➤ 外部評価

2年に1度、多摩市生涯学習推進本部に学識者等を招いて、個別施策の進捗・実施状況及び成果目標の現状値等からご意見いただき、評価を行う。

また、5年をめぐりに中間見直しを実施し、10年に総合評価を行う。

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
事業の進捗確認（庁内照会）	計画 スタート	●	●	●	●	●	●	●	●	計画 最終 年度
成果目標の状況（世論調査）			●		●		●		●	
内部評価（推進本部）		●	●	●	●	●	●	●	●	
外部評価（推進本部）			●		●		●		●	

(5) その他

① コラムの挿入（掲載ページは原案目次参照）

② 用語の解説の追加・見直し（原案 P.72）

文言の追加（生涯学習、ガバナンス機能等）や、文言の見直し（AI を人工知能に変換等）を行った。また、掲載ページ数も追加した。

2 今後のスケジュールについて

日程	内容
令和3年1月27日	生涯学習推進本部専門委員会（課長級会議）にて、第4次計画原案の検討・まとめ。
令和3年2月9日	生涯学習推進本部会議（部長級会議）にて、第4次計画原案の決定。
令和3年2月24日	経営会議にて、第4次計画の策定決定。
令和3年3月	議会にて、第4次計画策定報告。
令和3年3～4月	公式ホームページ・たま広報等での公表。